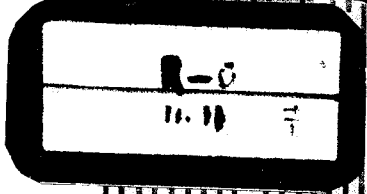


怎样阅读医学科技日语



黄崇本 娄人树 编

科技文献出版社重庆分社



技
日
语

技
文
献
出
版
社
重
庆
分
社

重 庆 医 学 院 黄 崇 本 娄 人 树	编	辑
科 学 技 术 文 献 出 版 社 重 庆 分 社	出	版
重 庆 市 市 中 区 胜 利 路 91 号		
四 川 省 新 华 书 店 重 庆 发 行 所	发	行
重 庆 印 制 第 一 厂	印	刷
开 本: 787×1092 毫 米 1/32		印 张: 5 字 数: 18 万
1979 年 11 月 第 一 版		1979 年 11 月 第 一 次 印 刷
印 数: 150,000		

1979 年 11 月 第 一 次 印 刷	定 价: 0.55 元
-----------------------	-------------

书 号: 17176·164

前 言

当前，广大医务人员学习阅读日语医学文献的日益增多。为了帮助大家解决阅读中遇到的一些困难，我们根据过去辅导医务人员阅读日语文献的一些资料，参阅国内和日本出版的多种字典、语法书籍及最近日语医学书刊，整理编辑成这本册子。

这是一本自修参考读物，对初具日语基本知识，开始靠字典阅读翻译文献时的读者最为适用。内容共四部分：（一）最新日语医学文献六篇，汉译及详尽注释，内容由浅入深。

（二）日语外来语拼写规律及《来源于英语的外来语还原表》。（三）日语查字典方法及《日语用言还原表》。（四）日语惯用语及《常见惯用语表》。这些内容对其他专业科技人员阅读日语文献时，也有参考价值。

本书的编写出版，得到南通医学院黄须美同志及巴县一中田智惠医师两位华籍日本同志逐字逐句审校，并得到中国科学技术情报研究所重庆分所、科学技术文献出版社重庆分社的大力支持和鼓励，在此表示感谢。

但由于我们水平所限，编写这类书籍的经验也很少。缺点和错误在所难免，衷心希望广大读者提出批评指正。

编 者

1978年8月

录

第一章 医学科技日语文献.....(1)

ケツ チュウ チ イギ カン
一、血 中 ビタミンE値の意義に 関 す

247649

ケン キュウ
研 究 (1)

(一) 原文

(二) 译文

(三) 注释

二、^ジ持^{ゾク}続^{セイ}性^{カン}肝^{エン}炎…………… (5)

(一) 原文

(二) 译文

(三) 注释

三、^{キユウ}急^{セイ}性^シ系^{キユウ}球^{タイ}体^{ジン}腎^{エン}炎^{キユウ}の急

性 期 症 状 (10)

(一) 原文

(二) 译文

(三) 注释

ケイ シン セン ダイ ドウ ミヤク ソウ ケツ ホウ
四、經 心 尖 大 動 脈 送 血 法

ヨウ ニ レン ジュウ カン
用 二 連 銃 管 (15)

(一) 原文

(二) 译文

(三) 注释

五、^{メン}免^{エキ}疫^{ガク}学^{サイ}の^{キン}最^{カンガ}近^ガの^ニ考^ニえ

方..... (26)

(一) 原文

(二) 译文

(三) 注释

六、^{ボウ}旁^{ユウ}幽^{モン}門^ブ部^{カイ}潰^{ヨウ}瘍^イ・胃^{ジュウ}十^ニ二

^シ指^{チョウ}腸^{ヘイ}併^{ソン}存^{カイ}潰^{ヨウ}瘍^{ナド}等^{トク}の^ニ特

^{セイ}性^ハは^ザ(^{ダン}座^{カイ}談^{カイ}会)..... (76)

(一) 原文

(二) 译文

(三) 注释

第二章 关于日语外来语..... (89)

一、日语外来语词汇拼写的一般规律..... (89)

二、来源于英语的外来语还原表..... (93)

第三章 日语查字典的方法..... (119)

一、日语单词的识别..... (119)

二、日语单词的还原..... (122)

三、日语用言还原表..... (125)

第四章 日语惯用语..... (130)

日语常见惯用语表..... (132)

第一章 医学科技日语文献译注

我们在这一章里，从最近日语书刊中选摘了六篇医学文献，由浅入深，包括内、外、妇、儿、基础医学各方面内容：全部汉字加注了日语读音、全文译成汉语，为便于对照阅读，尽量采用直译方式，每篇均附有详尽注释，但根据译文或通过字典较易理解的常见字则不一一注释。

一、^{ケツ チュウ}血^チ中^チビタミンE^チ値^チの

意義^{イ ギ}に^{カン}関^{ケン}する^{キユウ}①研 究

性^{セイ}ホルモンと^{ケツ チュウ}血^チ中^チビタミンE^チ値^チと②の③^{カンケイ}関係^{ケンケイ}について④^{ケン トウ}検^{カト}討^オした⑤。まず家兔^{ジツケン}に^{ケツ チュウ}於^{カト}ける⑥^{ジツケン}実験^{ジツケン}

から⑦^{シユウ カン}，雌^チ雄^{ユウ}間^イで⑧^{セイ}V・E^{ギョ}値^{ギョ}に⑨^{セイ}有^{ギョ}意^{ギョ}の⑩^{セイ}差^{ギョ}が^{セイ}あり⑪^{ギョ}

(♂>♀)，これ⑫^{セイ}を^{セイ}制^{ギョ}禦^{ギョ}している⑬^{セイ}⑭^{ギョ}の⑮^{セイ}は estradiol^{セイ}で⑯^{セイ}，testosterone^{セイ}には⑰^{セイ}調^{ギョ}節^{ギョ}作用^{ギョ}の⑱^{セイ}ない⑲^{ギョ}こと⑳^{セイ}

エン シン エン シン シュウ サイ コウ チ タツ
 妊 娠 では妊 娠 24~28 週 に最 高 値 に達 す
 ヘン ドウ ミト アク セイ シュ ヨウ サイ
 るの 變 動 を認 めた。また 惡 性 腫 瘍 の際
 イツ パン ケツ チュウ ジョウ ショウ ミイ
 には 一 般 に血 中 V・Eの 上 昇 を認 めた
 イギ フ メイ
 が、その 意 義 につい ては不 明 である。

イ ガク チュウ オウ ザツ シ
 医 学 中 央 雜 誌 347(2): 129, 1977,

コ バヤシ
 小 林 摘

オオ ノ ハルト ク ナゴ ヤ イ ガク
 原文: 大 野 春 息 名 古 屋 医 学 99(1~
 2) 18~26, 1976。

一、关于血中维生素E含量意义的研究

关于性激素和血中维生素E含量的关系进行了探讨。首先根据家兔的实验，得知雌、雄间在维生素E含量上有显著性的差异（♂＞♀），控制着它的是雌二醇，睾丸素没有调节作用。在正常男性与女性中，男性呈显著性的高含量。在正常妊娠见到了妊娠24—28周时达到最高值的改变。另外在恶性肿瘤时，一般见到血中维生素E的上升，但关于其意义是不清楚的。

注 释

1. 关する 自动词，サ行变格活用。常用“に关する”形式，相当于英语的on、about 的意义。“に”前面的词作“关する”的补语。

……に関する研究＝关于……的研究

2. と……と 并列助词。和、与、同。最后一个“と”在两个以上体言并列不引起误解时可省略。但在下列句中则不宜省略：

三と五との五倍＝ $[(3+5) \times 5]$ 。

三と五の五倍＝ $[3+(5 \times 5)]$ 。

との用法很多，鉴别其作为并列助词的特征是：① と见于几个体言或相当于体言的词组之间。② と与谓语等其他词没有直接关系。

3. の 格助词。的。与并列助词と可重叠。

4. について 词组。关于，就……。一般情况下“について”作状语用。若作定语时，后面加の，即“……についての”。特别提示时，后面可加“は”、“も”。

5. 検討した 検討するの连用形検討し＋时相助动词た 构成过去式。探讨、研讨。

“性ホルモン……検討した”句没有主语。日语句子以谓语为主要成份，省略主语的情况比汉语多见。本句相当于英语：“A study was made of……”。

6. における 词组。在、于。作定语用。作状语时则用“において”。有时不译出。

7. から 补格助词。〔时间、空间〕从，由；〔原料〕用；〔理由〕由于、因为；〔观点、标准〕根据。此处宜译“根据”。

8. で 补格助词。〔空间〕在；〔时间，工具〕用；〔动机〕因为；〔标准〕按照。此处意为“在”，可不译出。

9. へ 补格助词。①动作的地点 ②比例 ③动作方向 ④动作的原因 ⑤变化的结果。此处译为“在”。

10. 有意 名词。在此处指统计学上的“显著性”。

11. あり 自动词。“ある”的连用形，作中顿用。一般在科

技文献中“……がある”多译为“有……”，“にある”多译为“在……，在于……”。

12. これ 指示代名词。这个。此处指V·E的含量。

13. 制御している 制御するの连用形制御し+接续助词て+补助动词いる，构成进行态。日语用进行态的情况比汉语多，除表示正在进行的动作外，在科技文献中，更多表示经常性，持续的动作或状态。译成汉语时，一般可不译出，或以“着，在”表示，此处宜译“控制着”。

14. これを制御している 控制着它的。作定语从句，修饰形式体言“の”，而“の”则为全句主语，谓语是 estradiol で。

15. の 此处为形式体言，相当于こと、もの。

16. で 此处为指定助动词だの连用形，作中顿用。

17. には 是补格助词“に”与提示助词“は”（读わ）的重叠。此处用“は”是为了突出 testosterone 的地位。

18. の 此处为主格助词。日语主格助词一般用“が”，在突出提示时可用“は”代替。在定语从句中则可用“の”代替。

19. ない 形容词。没有。

20. こと 形式体言。事。此处直译为“（没有调节作用的）事”，通常不译出。

21. 判る 自动词。=“明る”、“分る”。了解、明白之意。

判つた→判る的连用形（促音便）+助动词た，形成过去式。testosterone には……判つた。其主语是形式体言“こと”，谓语是“判つた”，“调节作用のない”则为定语从句。

22. では 补格助词で+提示助词は

23. であつた である的连用形（促音便）+助动词た，构成

過去式。



北林图 A00113611

である 又 早中作指定助动词组，由指定助动词^レ的连用形
で+补助动词^ル组成。一般译为“是”。此处宜译“呈”较通顺。

24. 妊娠24～28周……达する 作“变动”的定语从句。

25. 認めた 認める的连用形認め+助动词た，构成过去式。

26. が 此处为接续助词。虽然……但是，与主格助词“が”
的鉴别是见于句末，即接于用言终止形后，而作主格助词时，则接于
体言后面。

二、持 続 性 肝 炎

リン ショウ テキ キュウ セイ カン エン リ カン
臨 床 的 には 急 性 肝 炎 に 罹 患 し
テ①から② 治癒が 遅 延 し③，6 カ 月 から 数 年
にわたり④ 血 清 トランスアミナーゼの持 続 的 あ
るいは⑤ 間 歇 的 な⑥ 上 昇 がみられる⑦が⑧，
カン セイ ケン キュウ セイ カン エン ショ
肝 生 検 をしてみる⑨と⑩ 急 性 肝 炎 の 所
見 がみられ，カン セン イ カ マン セイ カン
肝 の 線 維 化 といった⑪ 慢 性 肝
炎 の 所 見 がみられないもの⑫がある。これを持 続
性 肝 炎 と⑬ 呼ぶことがある⑭。最 近 の 経 験
ではこれら⑮のものでは Au 抗 原 の持 続 陽 性
例 が 多 いことが知られてきている⑯。このような⑰も

サイ シュウ テキ ハン コン ノコ チュ
 のは、最 終 的 には 癍 痕 を 残 さず④治癒する
 オオ イチ ブ マン セイ
 ことが 多 いといわれている④が、一 部では 慢 性
 カン エン イ コウ
 肝 炎 に 移 行 するものも④みとめられている。このよ
 カン ジャ オオ ジ カク ショウ ジョウ ヒ カク
 うな 患 者 の 多 く④は、自 覺 症 状 に比 較
 アキ ジョウ ショウ
 的④とぼしい④が、トランスアミナーゼの 上 昇 が
 カン ジャ シン ケイ
 いちじるしい④ものもあり、このため④患 者 が 神 經
 シツ オオ イツ パン ケツ セイ
 質 になる④ことが多い。一 般 に血 清 トランスア
 ジョウ ショウ チョ メイ ジ カク
 ミナーゼの 上 昇 の 著 明 なとき④や④、自 覺
 ショウ ジョウ アン セイ
 症 状 のあるときには安 静 をとらすべきである④
 イツ パン ガイ ライ セイ カツ シ ドウ ジュウ
 が、一 般 には外 来④での生 活 指 導 で 十
 プン
 分④である。

タニ ガワ キエウ イチ カシ タン スイ シツ カン リン
 谷 川 久 一；肝・胆・脾 疾 患 の 臨
 ショウ ナン コウ ドウ
 床 南 江 堂

p: 136 1974

二、迁 延 性 肝 炎

临床上患急性肝炎后迁延治愈，从6个月到数年，可见到血清转氨基酶持续性或间歇性的升高，如试作肝活检，有些病人就可见到急性肝炎的发现，而见不到所谓肝纤维化

的慢性肝炎发现。往往将其称为迁延性肝炎。最近的经验得知：在这些病例中，Au 抗原持续阳性病例多见。一般认为这样的病例最后多数不残留疤痕而获得治愈，也见到一部份转变为慢性肝炎。虽然这样的病人多数自觉症状较少，也有转氨酶上升显著的病人。因此，患者心情紧张者多见。一般血清转氨酶上升显著并有自觉症状时，应令其休息，大多数采取在门诊的生活指导就够了。

注 释

1. 罹患 名词。患病，感染。“罹患する”则成为サ变自动词。患……病＝“……に罹患する”。罹患する连用形罹患し＋接续助词て→罹患して。

2. から 付助词。在此处为什么不是接续助词呢？因为接续助词から必须后续于终止形，して不是终止形，故不能译为“因为”。动词连用形＋て＋から是一个词组，表示“……之后”，此处“罹患してから”意为：患病以后。“急性肝炎に……てから”作“治愈が迁延し”的状语。

3. 迁延し 迁延するの连用形，作中顿用。

4. わたり “互る”的连用形。にわたり，词组，接在空间有关词后，表示空间的连续，接在时间有关词的后面，表示时间的连续。

“6 カ月から数年にわたり”自6个月到数年连续时间里。

5. あるいは 接续词。或者。

6. 间歇的な “间歇的”是形容词。在日语里“……的”一般不能直接作定语。形容词需在后面加上助动词“だ”，靠“だ”

的变化起各种接续作用。作定语时要用“だ”的连体形“な”（这也是现代日语里唯一的终止形与连体形不同的字）。前面的“持续的”靠“あるいは”与“间歇的”组成一个复合定语，所以“持续的”后面不需接“な”。

但有时在词组里也可出现“生理的機能”，则译为：生理机能，而作为一个整体词看待。若为“生理的な機能”则译为“生理的机能”。

7. みられる “見る”的被动态。被见到。

动词未然形后续“れる”、“られる”可构成可能态与被动态，在日语科技文章中经常出现。区别其为可能态，或为被动态主要靠上下文意义，但有下列几点可供参考。

(一) 被动态时句中主语不是施事（动作的发动者），而可能态则主语是施事。

如 彼はきみに教えられる

“彼”不是“教えられる”这个动作的執行者，因此为被动态，直译为：他被你教，意译为：他从你那儿受到教益。

如 彼は君を教えられる

“彼”在句中是“教えられる”的施事，因此为可能态，译为：他能教你。

(二) 能用“ことができる”置換的“れる、られる”为可能态，否则为被动态。

(三) 可能态一般要求用“が”表示宾语，但也可用“を”。句子中如出现“を”，则多数为可能态。若句中出現“に”，“から”，“によつて”等补语、状语成分，则多为被动态。

8. が 此处为接续助词（见“一”注26），此处无明显意义，作为两个句子的转折。

9. **してみる** **する**+补助动词“見る”。**みる** 加在其他动词连用形+接续助词**て**的后面时，作补助动词用，表示该动作有试验性质，有：试试看之意。“**してみる**”译为“试作”。

10. **と** 此处为接续助词，接在用言终止形后，以前句为条件，后句顺态连接。可译为：——……就……，如……就……等。

11. **といつた** **という**的过去式。称为，所谓之意。

过去时态除表示过去“发生、完成”的动作外，在日语里还能表示过去的行为遗留下来的客观继续存在的状态。类似于“持续态”。但这时“**た**”常是连体形，作为后续体言的定语。这里“**といつた**”就是表示“过去称为”，“现在一直称为”之意。

12. **もの** 此处译为：人、者。是本句主语，谓语是**ある**，**もの**之前的句子为定语从句。

13. **と** 此处为格助词，用于体语或句末，下续“**呼ぶ、言う、思う**”等表示称呼，考虑的内容。相当于“：”。

14. **ことがある** 词组，后续于动词连体形后，译作：有时……，往往……。

15. **これら** 代词。“**これ**”的复数。这些。

16. **知られてきている** 知る的被动态+来る的连用形+**て**+补助动词**いる**。

来る接在其他动词后面作补助动词用，意为〔空间的〕由远及近；〔时间的〕由过去到现在。本词组直译为：正被知道起来。

17. **このような** **このよう**(这样)+补助动词**だ**的连体形**な**，意思是，这样的。

18. **残さず** 残す的未然形+文语否定助词**ず**，意思是：不遗留。

19. **といわれている** 格助词**と**+言う的被动态+助词**て**+い

る。意思是：正被称为，可译为：被认为，一般认为。

20. も 提示助词。也。此处代替主格助词が。

21. 多く 形容词“多い”的连用形，作名词用，意思是：多数。

22. 比較的 此处为“比較的に”的省略。作状语修饰“とぼしい”。

23. とぼしい 形容词。“乏しい”。意思是：缺乏、不足、少见。

24. いちじるしい 为形容词，“著しい”。明显的。

25. ため 名词。〔原因〕由于。〔目的〕为了。

26. 神経質になる ……になる，变为。此处宜译：心情紧张。

27. とき 名词。时

28. や 并列助词。列举一些，推及其余的意思。

29. とらすべきである 取る→使役态とらす。意思是：让采取。

“す”是文语使役助动词，相当于口语的“せる”。“べき”是文语助动词べし的连体形，意思是：应当。“である”为：是。直译为：是应该让采取……。

30. 外来 门诊的意思。

31. 十分 充分之意。

三、急性系球体腎炎

の急性期症状

タンパクニョウ ケツニョウ エンチュウニョウ
蛋白尿，血尿 および 円柱尿の

アイド クヨウ セイ ジョウ オ ケイビ
程度は多様で、正 常 ないし①極く輕微から②
コンダク ジュン ケツ セイ ヨウ ヨウ ケツ サン
混濁 純血性様、溶血、酸ヘマチンに

ジョウ ソウ カツ ショク チョウ ガイ カン
より③上層の褐色調の外観 まで④あ

セツ ケツ キュウ ハツ ケツ キュウ ジョウ ヒ サイ
る。赤血球のほか④白血球、上皮細
胞、各種円柱がある。蛋白質量も10数

ニョウ リョウ ゲン ショウ ボウ
%におよぶ⑤こともある⑥。尿量は減少し、乏

ニョウ レイ シュ ジュ アイド フ シュ
尿は5~10%例にある。種類の程度の浮腫、

コウ ケツ アツ ニョウ ショケン フク
高血圧があり、これら尿所見を含めての

キュウ セイ キ ショウ ジョウ イツバン
急性期症状のほとんど⑦は一般に1~3

シュウ ショウ タイ チョウ キ ジ ソク
週にて⑧消褪する。これらの長期持続は

ジュウ ショウ ケイカ センエン ヨゴフ
重症であり、経過を遷延させ⑨、予後を不

リョウ
良としている⑩。

キュウ セイ キ キケン ショウ シン ジュン カン キ
急性期危険症には心、循環器

ショウ ジョウ ツヨ シン フゼン コウ ケツ アツ セイ ノウ
症状の強い心不全、高血圧性脳

ショウ ボウ ニョウ ム ニョウ カン セン ショウ
症、乏尿および無尿、感染症があ

シン ジュン カン キ ショウ ジョウ コウ ケツ アツ
る。心、循環器症状はとくに⑪高血圧の

ハツ サク セイ ジソク セイ コキュウ コン
ときに発作性あるいは⑫持続性呼吸困

ナン キザ コキュウ ホンバセイ シン キ コン シン シン
難、起坐呼吸、奔馬性心悸亢進、心

カク ダイ カン シュ ダイ ハイ フ シュ キュウ ハツ
 拡大，肝腫大，肺浮腫などの急発，
 シン フ ゼン ハツ ゲン シン ロウ サク コウ ケツ
 心不全発現がある。心労作は高血
 アツ ソウ キョウ シン フ ゼン ハツ
 圧により増強されるが，この心不全発
 セイ ビョウ イン カン ゼン カイ シヤク
 生病因はこれのみでは完全には解
 ビョウ ショ コウ ケツ アツ ドウ ヨウ イチジル
 されない。病初の高血圧は動揺が著
 ショウ = タイ ショ タイ ヨウ ノウ
 し，小児ではこれに対処する耐容能
 ヒク コウ ケツ アツ セイ ノウ ショウ ハツ ゲン
 が低いために高血圧性脳症発現が
 オオ ヅ ツウ オウ ト イ シ ガ キ セイ ゼン ク ショウ
 多い。頭痛，嘔吐，易刺激性などの前駆症
 ジョウ トツ ゼン ケイ レン ハツ サク ゴ
 状にて突然に痙攣発作があり，その後
 イツ カ セイ マヒ イ シ キ コン ダク
 しばしば一過性麻痺および意識混濁があ
 ボウ = ヨウ ム = ヨウ ジュウ セイ キュウ
 る。乏尿および無尿による重症急
 セイ ジン フ ゼン ナガ ジ ソク
 性腎不全はまれであるが，長い持続ほど
 ヌエウ ショウ ケイ カ セン エン ケイ コウ
 重症で，経過遷延の傾向にある。とく
 ネン チョウ ジ オモ セイ ジン ロウ ジン
 に年長児に重く，成人，老人になるほ
 ジン フ ゼン シン コウ オオ ヨイ フ リョウ レイ
 ど腎不全進行が多く予後不良例が
 コウ トン ド
 高頻度である。

コ バヤシ シュウ ショウ = カ シン リョウ コウ ザ
 小林 収 小児科診療講座

(3) p:123~124